

2006/07/14 太田寿一

王者の独走を許すな

コンビニエンスストア業界第 2 位～ 4 位のローソン、ファミリーマート、サークルKサンクスの 3 社が、清涼飲料水を共同開発することを発表しました。ライバル同士である 3 社が共同で商品開発に取り組むのは、これが初めてとなります。これは業界トップのセブンイレブンに対抗するための施策と見られ、結果次第では酒類や加工食品など他の商品への拡大も検討されています。

コンビニ業界は、パイオニアであるセブンイレブンが圧倒的なシェアと売り上げを占めており、今回の提携をきっかけに、王者の牙城を崩せるかどうか注目されています。

コンビニ業界の比較

社名	コード	シェア	売上高	店舗数	1店舗あたり売上高
セブンイレブン	3382	32.7%	2,440,853	10,826	225.46
ローソン	2651	17.8%	1,329,007	8,077	164.54
ファミリーマート	8028	13.4%	998,491	5,994	166.58
サークルKサンクス	3337	12.1%	907,407	5,128	176.95
ミニストップ	9946	3.4%	252,708	1,563	161.68
デイリーヤマザキ	—	3.3%	245,337	1,827	134.28

セブンイレブン vs 3社連合の比較

セブンイレブン	3382	32.7%	2,440,853	10,826	225.46
ローソン + ファミリーマート + サークルK	—	43.3%	3,234,905	19,199	168.49 + α ?

金額の単位は百万円

データは 2004 年度のもの

参考：東京新聞ホームページ <http://www.tokyo-np.co.jp/>

DataBlog*netjinsei <http://netjinsei.com/datablog/000255.html>